

留 学 報 告 書

記入日:2013年9月29日



所属学部／研究科・学科／専攻	文学研究科仏文学専攻博士前期課程
留学先国	フランス共和国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	国立東洋言語文化研究学院 Institut National des Langues et Civilisations Orientales
留学期間	2012年9月～2013年5月
留学した時の学年	博士前期2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	日本学部
帰国年月日	2013年8月1日
明治大学卒業予定年	2014年3月

留 学 先 大 学 に つ い て

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬～1月中旬 2学期:1月下旬～5月末
学生数	約9,000人
創立年	1669年

留学費用項目	現地通貨(ユーロ)	円	備考
授業料	€0	円	
宿舍費	€8,712.00	円	11か月分。住居手当反映済み。
食費	€3,000.00	円	パソコンと同時に家計簿を紛失したので数字は不正確
図書費	€250.00	円	同上
学用品費	€60.00	円	同上
教養娯楽費	€1,000.00	円	同上
被服費	€80.00	円	同上
医療費	€110.00	円	同上
保険費	€207.00	129,560円	
渡航旅費		212,175円	エールフランス直行便
雑費	€150.00	円	不正確な数値
その他		円	
合計	€13,569.00	341,735円	

進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。 現時点では未定ですが、INALCO の大学院へ正規学生としての入学を考えています。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
42 単位	<input type="checkbox"/> ? 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません (理由: 大学院の授業でないため単位認定が受けられないため)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Compréhension écrite et orale en français Niveau 3	フランス語理解(読解・聞き取り)レベル 3
科目設置学部・研究科	FLE(留学生用フランス語セクション)
履修期間	通年
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Potolia/Gécit
授業内容	レベルは DELF B1クラス。フランス語学習者向けに作られた教科書をそのままの授業です。とはいえ、そこから派生した情報をいくつも付加して知識を深めたり、学生からの要望でテキストを選べたりとある程度の自由がありました。
試験・課題など	前期と後期にそれぞれ中間と期末、計 4 回。いずれも通常授業の日に行います。初見の文章・録音で実力を測ります。
感想を自由記入	授業が始まる前にテストをしてレベル(A2~B2)が振り分けられたのですが、レベル以上に先生による差が大きいと感じました。特に読解を担当した Potolia 先生は純粋なフランス人の発音ではないので、学生との間にずれがあって苦労しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Expression écrite et orale en français Niveau 3		フランス語表現(作文・会話)レベル 3	
科目設置学部・研究科	FLE		
履修期間	前期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義・演習(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Loubatières/Sadovinova		
授業内容	レベルは DELF B1 クラス。会話の方は授業の最初にテキストが配られてその解説をした後、感想や意見を学生に聞くのが主で、学生が会話する機会がほとんどありませんでした。一方作文は毎回課題が出され、書き取りの問題をし、語学の授業の見本ともいうべきものでした。		
試験・課題など	会話は Loubatières 先生の担当で、この先生の授業を取っている人の多くは試験期間中にまとめて行うことになります。会話の試験は個別面接。作文は、事前に課題が予告され、最後の授業日に行われます。授業中に読んだ小説のレジュメ。		
感想を自由記入	会話の授業は上達した感じがしませんでした。学生の数と先生が話す割合が多く、超積極的に発言をする姿勢を見せないと一言も喋らずに授業が終わっています。Sadovinovaは発音も綺麗でわかりやすく、説明も丁寧なので分かりやすかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Expression écrite et orale en français Niveau 4		フランス語表現(作文・会話)レベル 4	
科目設置学部・研究科	FLE		
履修期間	後期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	プレゼン(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回		
担当教授	Sadovinova		
授業内容	レベルは DELF B2 クラス。3とは違い、会話と作文が一体になっています。毎回課題が出て、それについて発表したり学生の間で質問しあったりします。		
試験・課題など	毎回宿題が出ます。その発表が評点になるので、試験のある人となない人とがいます。ある人は最後の授業日に面接。		
感想を自由記入	Sadovinova 先生の話自体は分かるのですが、学生が話すことが多く、理解が追いつかないことが多々ありました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Repères historiques et sociologiques		歴史的社会的指標	
科目設置学部・研究科	FLE		
履修期間	前期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Loubatières		
授業内容	完全講義形式。最初はフランスの文化に関することで、後半は歴史でした。前期しか取らなかったものの、後期もずっと歴史をやり続けていたそうです。		
試験・課題など	授業最終日に試験が行われるのみ。試験内容の予告はなし。		
感想を自由記入	ただ聞いているだけで、なおかつその内容も歴史が大半であり、わざわざフランスで勉強しなくてもいいようなものでした。余程のことがない限り取る必要はないと思います。		

履修した授業科目名(大学言語):		履修留学先した授業科目名(日本語):
Lecture de textes d'actualité		時事テキスト読解
科目設置学部・研究科	FLE	
履修期間	前期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Loubatières	
授業内容	最初の一か月は一つのテキストをじっくり読んで解説していたものの、それだとセメスターをすべて使ってしまうということで以後は一つのテキストを二週かけて読み、数をこなすようになりました。文章の解説と学生からの質問への応答がメイン。	
試験・課題など	読んだテキストをレジュメして出すよう求められることがあります。毎回ではなく必須でもありません。試験は、授業とは全く関係ない小説の抜粋からの出題でした。	
感想を自由記入	周りがヨーロッパからエラスムスで来ている人ばかりのためレベルは高いです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Version		和文仏訳
科目設置学部・研究科	日本学部	
履修期間	通年	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	演習(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 60 分が 1 回	
担当教授	Saucier	
授業内容	あらかじめ用意された日本語のテキスト(前期は短いもの11編、後期は長いもの2編)を、フランス語に翻訳します。前期では先生に提出してそれをもとに先生が解説、後期は学生が授業が始まるよりも前に提出し、学生の翻訳を全員で見ながら訳を探っていきます。	
試験・課題など	毎回ではないものの、作文を提出する課題があります。その際、フランス人学生と一緒に作業することをお勧めします。そのため予習に多くの時間を割く必要があります。試験では初見の文章を仏訳。	
感想を自由記入	研究テーマに最も近いこともあり、非常に実りの多い授業でした。同時に、日本語的な文章ほど翻訳に適さない、翻訳のしやすいジャンルがあるのでは、などの課題も見えてきました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Rédaction		仏文和訳
科目設置学部・研究科	日本学部	
履修期間	通年	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	演習(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Terada/Matsui	
授業内容	Version とは逆に仏文和訳の授業。テキストが四つあり、うち三つの提出が必須課題。その課題に関する解説がメインとなります。それ以外は文法の練習問題が主です。	
試験・課題など	試験期間中に行われるのですが、日本人学生に対しては和文仏訳が課題として出されます。やはり初見の文章です。	
感想を自由記入	日本人なのに日本語の文法が分かっていない部分があって、衝撃的な授業でした。あるいはフランス語の理解の段階でつまづくこともしばしば。日本語学習者がやりがちな間違いも提示されるのですが、何故それが起こるのかを分析するのも面白かったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Histoire intellectuelle du Japon moderne et contemporain 1		近代日本の知識人史 1	
科目設置学部・研究科	日本学部		
履修期間	前期		
単位数	3.5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Lozerand		
授業内容	福沢諭吉、森鷗外、正岡子規、夏目漱石について、テキストを読みながら解説。基本的に講義のみで、学生に発言が求められることはまれです。		
試験・課題など	授業中に読んだテキストに関する知識出題、及びその抜粋の仏訳。		
感想を自由記入	使うテキストは全部日本語なのでフランス語の解説でもどうにかついていけますが、やはり語学力がないと話になりません。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2011年 1月～3月	
4月～7月	大学院入学。 留学関連の情報収集。
8月～9月	情報収集をしながら留学先(候補)を決める。
10月～12月	学内専攻へ応募、学内面接。 DELF 受験。
2012年 1月～3月	学内選考通過。新たな書類作成。INALCO からの案内。
4月～7月	書類提出、入学許可が降りる。 ビザの取得に向けて行動開始。 航空券の購入ほか渡航準備。
8月～9月	ビザ申請、ビザ取得。 渡仏し、INALCO にコンタクトを取って、留学生用オリエンテーションを受ける。 フランス語のクラス分けが行われ、授業開始。
10月～12月	履修授業確定。